

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2020年5月22日

オーカムテクノロジーズ

特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会

視覚障がいのある方の自己実現とインクルーシビティ向上を目指す新たな取り組み

オーカムテクノロジーズが日本ブラインドサッカー協会と  
ソーシャルテクノロジーパートナーシップを締結  
視覚障がい者のためのAI支援デバイス「オーカムマイアイ2」を協会へ無償提供

ブラインドサッカー男子日本代表の加藤健人選手と  
オーカムテクノロジーズのコラボレーション動画も本日より公開

ブラインドサッカーを通して見つけた挑戦する勇気、  
「オーカムマイアイ2」を体験して感じた新たな可能性を語る



東京（2020年5月22日）－ AI(人工知能)を搭載した視覚支援ウェアラブル機器の開発・製造を行うオーカムテクノロジーズ（OrCam Technologies Ltd., 本社：イスラエル エルサレム、共同創立者兼共同CEO：アムノン・シャシュア教授、共同創立者兼共同CEO：ジブ・アビラム）は、5月22日、特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会（東京都新宿区、理事長：塩嶋史郎、以下、JBFA）の「ソーシャルテクノロジーパートナー」として新たにパートナーシップを締結することを発表しました。

ブラインドサッカーを通じ、『視覚障がい者と健常者が当たり前に混ざり合う社会』の実現を目指すJBFA。そして、先進的な画像解析技術によるAIウェアラブル機器を通して、視覚障がい者のクオリティオブライフ向上と、自立性を高め、社会へのアクセスを促進させることを企業ミッションとして掲げるオーカムテクノロジーズ。両者は「インクルーシブな社会の実現」という理念を共有しており、今回の「ソーシャルテクノロジーパートナー」の締結により、その理念のもと協働を推進させていきます。

「ソーシャルテクノロジーパートナー」とは、最先端技術を用いて社会貢献を目指す企業と、JBFA の持つ資産とを掛け合わせ、社会実装させていくことを目的として、新たにつくられた JBFA に対するサポートの枠組みです。今回の 2 者のパートナーシップにより、JBFA が関係する視覚障がい者と連携し、オーカムテクノロジーの製品に関するヒアリングや実証検証、プロモーションへの協力などが予定されています。

JBFA の塩嶋史郎理事長は、今回のパートナーシップについて次のように述べています。「最先端の AI 技術を活用して視覚障がい者の生活向上を目指すオーカムテクノロジーと理念を共有し、パートナーシップを締結できたことを、心強く思います。この取り組みが、視覚障がい者も健常者も関係なく、当協会のビジョンである「当たり前前に混ざり合う社会」の実現に向けた一歩となると信じています。」

また、オーカムテクノロジー社日本統括責任者、柳平大輔氏も「今回のパートナーシップにおいて、視覚障がいでも悩んでいるアスリートの方々の日常生活のサポート（スポーツニュースを読んだり、スポーツ選手にとって重要な栄養をしっかりと取るために買い物に行ったりなど）を通して、クオリティーオブライフの向上や自己実現に向けた支援ができることを光栄に思います。」とコメントしました。

このパートナーシップ締結にあたり、オーカムテクノロジー社の AI 搭載型視覚支援デバイス「オーカムマイアイ 2」数台が、JBFA へ無償提供されます。スマートカメラとミニスピーカーを搭載した軽量で親指サイズのウェアラブル支援技術デバイス「オーカムマイアイ 2」は、印刷物やデジタル画面からテキストを瞬時に読み取り、顔を記憶し、事前に登録した人物の名前を音声で読みあげ、また、紙幣、色、バーコードを即座に認識することを可能にします。ハンズフリーのオーカムマイアイ 2 は、スマートフォンや Wi-Fi を必要とせずに、視覚情報を音声によって自然にユーザーに伝えます。またインターネットへの接続が必要ないため、データのプライバシーを確保しながら、リアルタイムでの使用が可能になります。25 の言語に対応するオーカムマイアイ 2 は、日本を含む、世界 50 カ国の国と地域で視覚障がいをお持ちの方々に使用いただいています。

さらに、今回パートナーシップ締結を記念して、「カトケン」の愛称で親しまれるブラインドサッカー男子日本代表強化指定選手の加藤健人選手とオーカムテクノロジーとのコラボレーション動画第 1 弾を公開。動画では、視力を失った加藤選手がブラインドサッカーを通じて見つけたやりがいや挑戦する勇気、「オーカムマイアイ 2」を体験して感じた新たな可能性などを語っています。目標に向かって挑戦し続ける勇気をくれたブラインドサッカーと、AI 機能を活用したデバイスを使うことで開ける新たな可能性を感じさせるオーカム製品。ビジョンを共有するこの両者のパートナーシップを通じて、加藤選手がそうであったように、自身の障がいに悩む人々が自分の中の可能性に気づき、生きがいを持って新しいことにチャレンジしていけるよう、今後もさらに取り組んでいきます。



コラボレーション動画はオーカムテクノロジーズ公式 web サイトでもご覧いただけます。

<https://www.orcam.com/ja/>

<https://explore.orcam.com/ja/for-people-who-are-blind-or-partially-sighted-q12020/>

### 【プロフィール紹介】



#### 加藤健人（かとう・けんと）選手

1985年10月24日、福島県生まれ。ブラインドサッカー男子日本代表でカトケンの愛称で親しまれている。埼玉 T.Wings 所属。小学校3年生のときにサッカーを始める。高校2年生のときに受けた視力検査で左目の視力低下が判明。その後レーベル病と診断される。高校卒業後、19歳のときに父親の誘いでブラインドサッカーを始める。競技を始めて1年目に関東リーグで新人賞を獲得、4年目の2007年、アジア選手権で初の日本代表入りを果たす。以後連続して代表に選出されている。

### 【日本ブラインドサッカー協会について】

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会は、日本におけるブラインドサッカーの普及と国内の競技の統括を目的に、2002年10月に「日本視覚障害者サッカー協会」として設立されました。2010年8月に「日本ブラインドサッカー協会」に名称変更し、2015年10月にNPO法人化され、「スポ育」「OFF TIME Biz」などダイバーシティ事業も展開。強化中心の従来型スポーツ団体の枠を超えて活動の幅を広げています。協会 HP：<http://www.b-soccer.jp/>

### 【オーカムテクノロジーズ (OrCam Technologies Ltd.) について】

パーソナル・ウェアブル AI プラットフォームをリードしてきたオーカムテクノロジーズは、衝突回避システムのリーダーであり無人運転のイノベーターである、モービルアイの共同創業者、アムノン・シャシユア教授とジブ・アピラム氏によって2010年にイスラエルで設立されました。ドライバーの安全をサポートす



る画期的なアーティフィシャル・ビジョン・テクノロジーにインスパイアされたオーカム製品は、AI搭載のコンピューター・ビジョンを最大限活かし、目の不自由な人、耳の不自由な人、読書に問題を抱える人などの自立性を高めることに寄与します。フラッグシップモデルとなる支援テクノロジー機器、「オーカムマイアイ2」は、TIME 誌の Best Inventions of 2019 に選ばれました。

より詳しい情報は、オーカムテクノロジーズ公式 web サイト（日本語）、公式 YouTube または Facebook（日本語）、Twitter（日本語）をフォローください。

公式 web サイト: <https://www.orcam.com/ja/>

- 本プレスリリースに関するお問合せ先 -

オーカムテクノロジーズ日本 PR 事務局（SivanS 株式会社内）

担当：田中・高谷

Email: [orcam@sivans.jp](mailto:orcam@sivans.jp)

Tel: 03-6812-9495

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会広報室

E-mail: [media@b-soccer.jp](mailto:media@b-soccer.jp)